

地方都市視察報告書

環境建設委員会

1 実施日 平成25年10月17日(木)

2 視察地 鹿児島県鹿児島市

【市の概要】

(1) 面積 547.21km²

(2) 人口・世帯数(平成25年10月1日現在)

○人口 607,604人

○世帯数 271,096世帯

(3) 昭和42年4月29日に隣接する谷山市と合併して人口38万人の新鹿児島市が誕生、同55年7月には人口50万人を突破した。

その後、平成元年に市制施行100周年を迎え、平成8年4月1日には中核市に指定された。

また、平成16年11月1日には吉田町、桜島町、喜入町、松元町及び郡山町と合併し、政治・経済・社会・文化等高次な都市機能が集積した南九州の中核都市として発展を続けている。

3 視察項目・内容

市電軌道敷緑化について



4 視察参加者

【委員】

下村治生委員長

佐藤佳一副委員長

久保広介委員

鈴木ゆきえ委員

根本二郎委員

おぐら利彦委員

深沢としさだ委員

有馬としろう委員

雨宮武彦委員

【随行】

議会事務局議事係 佐藤勇治 氏家あふゆ

5 視察結果・所感

市電の軌道敷緑化は、鹿児島中央駅前に降り立ったときから、目に飛び込んで来、実際に乗車しても、美しい緑のラインの上を市電が進んでいくのが、とても印象的であった。

この緑化は、景観やまちづくりに大きく貢献しているだけでなく、騒音にも配慮され、ヒートアイランド現象、環境の面でも非常に効果的である。また、市民の方だけでなく、来街者にも、このような取り組みをしていることが一目でわかる点は、学ぶべきところが多い。

また、桜島の灰を元にして作った保水性の高いコンクリートを独自に開発して使用している点などは、非常に勉強になった。

維持管理には費用もかかり大変であるが、市民の方にも理解され、喜ばれているのではないかと。もともと緑の多い環境でありながら、緑に対する意識が高いのに驚いた。

もう少し花を置いたらきれいになるのではないかと、まちおこしのためにこうしたらよいのではないかと、といった発想をしてしまうが、もっと自然な形で緑を増やそうという取り組みを、市民の方と行政とが一緒にやっていると感じた。

新宿区にも、都電荒川線があるので、参考にしたいが、他区にまたがるので周辺環境にも関与していくことになるだろうと実感した。

新宿区でやるとしたら、学校、福祉施設、区役所や出張所といったところだけでなく、道路の部分、区道の緑化が、もっとできるのではないかと。花と緑のまちづくりは、おもてなしの心にも通じる。来街者も非常に大事にしている姿勢を感じた。

6 主な質疑項目

- (1) 実施のきっかけについて
- (2) 費用対効果について
- (3) 維持管理の方法、問題点及び対策について
- (4) シラスの利用について
- (5) 緑化前の交通状況について

7 その他

【共同視察者】

みどり公園課長 吉川洋志 景観と地区計画課長 森孝司